

2024(令和 6)年 8・9 月の

ウィークエンド・シネマ

特別展「キュラソー・ビザ ーズワルテンダイク・オランダ領事と「命のビザ」の知られざる原点ー」(8月24日～9月22日)の開催にあわせ、関連作品を上映します。

各土曜日 午後2時～
予約不要(当日先着順、定員160名)
参加費無料(ただし入館料が必要)
【会場】ピースおおさか1階講堂

「アンネ・フランクと旅する日記」 (日本語字幕)



8 月

3 日(土)
10 日(土)
17 日(土)
24 日(土)
31 日(土)

99分 カラー アニメ 2021(令和3)年
ベルギー・フランス・ルクセンブルク・オランダ・イスラエル合作

第二次世界大戦中、ユダヤ人の少女アンネ・フランクが空想の友達であるキティー宛てにつづっていた、「アンネの日記」を原案に描いたアニメーション映画。

現代のオランダ・アムステルダムを舞台に、アンネの空想の友だち、キティーの視点からアンネの生涯をたどる。

ファンタジー風の場面を豊富に盛り込みつつ、平和への祈りと、現代における難民差別に対する抗議も描いた作品。

【監督】アリ・フォルマン

【声の出演】ルビー・ストークス、エミリー・キャリー ほか

「海でなくてどこに Where But Into The Sea」(日本語字幕)



9 月

7 日(土)
14 日(土)
21 日(土)
28 日(土)

72分 カラー・モノクロ 2021(令和3)年 日本

マリアと弟マーセルは、1939年9月、ナチスによるポーランド侵攻にともない、家族とともに故郷のポーランド・ウッチを離れることに。

杉原千畝が発給した日本通過のビザを手に、敦賀、神戸、そして日本占領期の上海へ。逃避行を続ける彼女らが最後にたどり着いた場所は…。

歴史とアートの融合プロジェクト「マルリカプロジェクト」の中で制作された、姉弟の生き残りをかけた旅の軌跡をたどるドキュメンタリー作品。

【監督・撮影・編集】大澤未来

【企画・調査研究・歴史考証】菅野賢治

【対 象】どなたでも(小学生以下は保護者の方と同伴)

【入館料】大人250円、高校生150円、中学生以下は無料

65歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)、20名以上は団体割引

【主 催】公益財団法人 大阪国際平和センター(ピースおおさか)

〒540-0002 大阪市中央区大阪城 2-1 TEL 06-6947-7208

<http://www.peace-osaka.or.jp>

FAX 06-6943-6080

JR 環状線「森ノ宮」北出口・Osaka Metro「森ノ宮」①番出口

